



福島県立梁川高等学校

平成 29 年 11 月 13 日

校長通信

Team Yanagawa

vol. 13

■ 木の間より湧き立ち降れる落葉かな (星野立子)

今月7日は二十四節気の一つ立冬でした。暦の上ではこの日が冬の始まりとされています。校舎を囲む木々からは黄色や赤色に染まった葉が落ち、地面を覆う落ち葉が風に舞うなど、学校でも至る所で冬の佇まいが感じられます。生徒や職員が箒で落ち葉を掃き集める光景を見ていると、季節が秋から冬へと移り変わったことを実感します。日没の時間も早くなり、気温もだいぶ低くなってきました。生徒諸君や先生方には体調に留意し、くれぐれも風邪などひかぬよう気をつけて欲しいと思います。



■ 梁川高校グラウンド誕生物語 ～先人の努力に想いを寄せて～

校内マラソン大会が行われた10月22日から翌23日にかけて、大型台風21号が日本列島を横断し各地に甚大な被害をもたらしました。他県で河川の氾濫や土砂災害が相次いでいたため、私は福島河川国道事務所がネット配信しているライブカメラの映像で阿武隈川の水位を確認しながら夜を過ごしました。月並みな感想ですが、自然の脅威の前で人間は無力であり、日頃から防災対策や防災教育に努める重要性をあらためて感じました。今回の台風による大雨で本校グラウンドも浸水し、野球部が使用している三塁側周辺の表土が南側に流されてしまいました。すぐに新しい土を入れ修復しましたが、同様のことは昨年も発生しており、施設管理上の課題となっています。

ところで現在のグラウンドが造成されたのは、63年前の昭和29年のことでした。それまでは旧校舎に囲まれた狭い敷地をグラウンドとして使用しており、様々な活動にも不便を来していました。そこで女学校時代からの懸案を解決するため、昭和28年、**グラウンド拡張期成同盟**が結成されます。梁川町長が会長に、PTA会長と町議会議長が副会長に就任し、グラウンド整備に向けた運動が本格化し、県から150万円、梁川町から60万円の予算が計上され用地買収に着手しました。しかし、210万円では費用全額を賄うことができません。そこで生徒会の企画により**グラウンド拡張資金募集芸能発表会**が開催されます。生徒は総務企画係、受付係、進行係、舞台係、放送電気係、会場整理係に分かれて準備から運営まで行いました。発表会当日の6月6日は 演劇、音楽、舞踊の各クラブが出し物を発表し、昼夜二部とも超満員であったと「梁川高校新聞」は伝えています。収入は募金総額から費用を差し引いた6千円にすぎませんでしたが、当時の**生徒達の愛校心と行動力**には驚くばかりです。また、創立70周年記念誌「鶴ヶ岡」によれば、地ならし作業は仙台に駐留していたアメリカ軍のブルドーザーによって行われました。昭和29年10月、創立35周年記念事業として晴れてグラウンドが完成するわけですが、そこには県当局、PTA、同窓会、地域社会の支援のみならず、生徒会、駐留米軍の協力もありました。私はその事実を忘れてはならない記憶として胸に刻みたいと思います。

今も昔もグラウンドは学校にとってなくてはならないものです。体育の授業、部活動、様々な学校行事、地域のスポーツ行事に使用され、最近ではドクターヘリの離着陸場にもなっています。**先人の汗と涙の結晶であるグラウンドを大事にしようと決意を新たにしています。**



昭和28年の梁川高校新聞

部活動 だより

10月26日、猪苗代町総合体育館カメリーナ前を発着点として県高校駅伝競走大会が行われました。本校は男子の部にエントリーし、選手は7区間42.195キロのコースで力走しました。今回、陸上部と他の部活動に所属する生徒の計8名でチームを構成し、確実に襷をつないで健闘しました。選手不足で出場できない学校もある中、本校の存在感を示してくれました。

■ 雨天の中、力走した生徒達 ～校内マラソン大会～

10月22日、校内マラソン大会が行われました。今年も梁川町で行われた「三浦弥平杯ロードレース大会」に参加する形で実施され、男子5キロ、女子3キロのコースを走りました。当日は台風21号の接近で大雨となりましたが、参加者全員完走しました。びしょ濡れになりながらも懸命に走る生徒の姿から、梁高生の底力を感じました。また、生徒諸君の頑張っている姿を町民の皆様に見ていただけたと思います。本当にお疲れ様でした。



広瀬橋を通過する男子



スタートを待つ女子



一般選手に続きゴールする男子



靴に付けたタグを外す選手達

■ ふくしま消防防災出前講座

10月20日、3年生を対象に「ふくしま消防出前講座」が行われました。県危機管理部消防保安課と伊達市消防団員の方々をお招きし、消防団の社会的役割や消防団を取り巻く現状について講話をいただきました。女性消防団員第1号の八巻ひろえさんは本校の卒業生でした。仕事を持ちながら消防活動を通じて地域貢献する八巻さんの爽やかな姿が印象的でした。



講演する八巻さん



お礼の言葉を述べる霜山君

■ 1学年進路ガイダンス

10月24日、1学年進路ガイダンスが行われました。私からは「離職率」をキーワードにしっかりと職業観を身につけることの大切さを伝えました。進路講話ではライセンスアカデミーの羽根田ひとみ氏より「進路目標達成に必要なこと」のテーマでお話をいただき、分科会では職業別のガイダンスブースに分かれて、講師の方から説明を聴きました。生徒達はメモを取りながら熱心に耳を傾けていました。



真剣に講話を聴く生徒達



職業別ガイダンスの様子

■ 防災避難訓練が行われました

10月25日、地震を想定した防災避難訓練が行われました。当日は雨天のため体育館への避難となりましたが、生徒達は避難経路の確認と迅速な避難行動について学びました。また、初の試みとして地震体験車に来てもらい、過去に起きた地震の揺れを体験しました。東日本大震災から6年8ヵ月が経過し記憶の風化が叫ばれていますが、万が一の事態に備え、常に防災意識を高めていきたいと思えます。



体育館に整列した生徒諸君



地震体験車に乗る生徒達

掲示板

ハロウィンを間近に控えた10月27日、正門付近にデットマウスが現れました。登校指導をしていた私たちを手伝い、人知れず姿を消しました。見かけた方は校長室まで情報をお寄せください。



■ 創立百周年記念事業実行委員会設立総会が行われました

10月26日、梁川中央交流館において創立百周年記念事業実行委員会設立総会が行われました。当日は設立準備会から提出された会則案と実行委員会組織案が了承され、同窓会の霜山幸八会長が実行委員長に選出されました。また、実行委員長からの役員、事務局、小委員会、顧問の委嘱に続き、設立宣言が行われました。

